

## 2019年度 事業経営計画

2019年度の日本経済は、10月に消費税率の引上げが予定されている中、国の予算編成においては経済の回復基調の持続措置が講ぜられることから、引き続き雇用・所得環境の改善が見込まれ、景気回復が進むと想定されている。

一方、鉄鋼業界は、国内鉄鋼需要が投資の一巡や消費増税による自動車・産業機械などの需要減が想定されることから、前年度と比べ減少するとみられるが、海外鉄鋼需要が米中の貿易摩擦の影響はあるものの小幅な増加が見込まれていることから、粗鋼生産量は2018年度をやや上回り堅調に推移すると想定されている。

かかる経済環境の下、本年度は第8次中期経営計画(2018年度から2020年度)の2年目に当たり、①事業継続性を踏まえた基幹設備の修繕 ②安全かつ丁寧な作業の進化 ③財務体質の強化を重点施策とした予算を組み、働き方改革に伴う人材の効率的活用による変動費の10%削減を目指し、**3事業について下記の事業経営計画の達成に向けて邁進するものとする。**

### 記

#### 1 倉庫事業部門

- (1) 鋼材物流のプロとしての自覚と責任を持ち、日常作業の安全・品質管理に万全を期し、完全無災害を達成する。
- (2) 能動的営業活動の推進や作業効率向上施策(揚荷能力及び回転率の向上並びに機動的な置場計画)を展開し、**取扱数量 546,600t(45,550t/月)、売上高 12億8,800万円**を目指す。
- (3) 事業継続性を確保するため、岸壁クレーン走行装置の改修、岸壁・天井クレーンのLED照明化及び構内作業台車・作業台の製作を実施する。

#### 2 加工請負等事業部門

長い水際線と広い背後空間を有し、かつ、加工工場が構内に立地する弊社の特徴を生かした長尺品の加工及び受注実績を生かしたJR関連工事への営業活動に努め、**売上高 4億5,000万円**を目指す。

#### 3 施設利用事業部門

資産の効率的活用を努めると共にリサイクル関連事業の拡充により、**売上高 1億6,200万円**を目指す。